

第194回一関市教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和元年6月25日(火)午後1時30分

閉会 平成31年6月25日(火)午後2時33分

2 会議の場所

一関保健センター栄養指導室

3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 小野寺眞澄

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	千葉敏紀
一関図書館長	千葉秀一
教育部次長兼学校教育課長	瀧野澤 徹
教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長	千葉 浩
一関市博物館次長	千葉 精一
教育総務課長	中田 善久
いきがづくり課長	伊東 吉光
教育総務課長補佐兼庶務係長	千葉 由紀(記録)

5 議題及び議決事項

認 第1号 専決処理について(一関市社会教育委員の委嘱について) (承認)

議案第15号 一関市博物館協議会委員の任命について(可決)

6 報告

(1) 行事報告及び7月行事予定について

7 その他

- (1) 令和元年度学校教育行政の重点について（キャリア教育）
- (2) 令和元年度東北六州市町村教育委員会連合会研修会及び一関市教育委員会委員視察研修について
- (3) 学校の冷房設備の設置について

8 会議の議事

○教育長 定足数に達しておりますので、ただいまから第194回一関市教育委員会定例会を始めます。

認 第1号 専決処理について（一関市社会教育委員の委嘱について）

○教育長 それでは、2番の議事日程第1、認第1号、専決処理について、一関市社会教育委員の委嘱につきまして、事務局からお願いします。

○教育部長 それでは、お手元の資料の3ページをお開き願います。

（説明）

○教育長 それでは、社会教育委員1名であります。委嘱したという承認でございます。

社会教育委員は、教育委員会が条例上委嘱することとなっておりますので、時間がないことから、私のほうから委嘱させていただいたということの報告の承認であります。

これについて何かご質問がございます。

よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長 それでは、認第1号は承認されました。

議案第15号 一関市博物館協議会委員の任命について

○教育長 議事日程第2、議案第15号、一関市博物館協議会委員の任命につきまして、事務局から提案願います。

○教育部長 それでは、お手元の資料の7ページをお開き願います。

（説明）

○教育長 ご質問ありますでしょうか。

はい、千葉委員。

○千葉委員 名簿の一番下の方は、家庭教育ということで選考されております。

8ページを見ると、「家庭教育の向上に資する活動を行う者」と書いてあるんですが、

どのような活動を行ってきた方なのか教えてください。

○教育長 文化財課長、前博物館次長でありましたので、もしわかればお願いします。

○文化財課長 この方については、これまでもお願いしている方ですが、経歴につきましては、把握してございません。。

○教育長 私もこの協議会に出席しているのですが、この方は小学校のPTAの方だったと思いましたが、穏やかできちんと意見を述べる方です。

博物館にも毎回足を運んでいただきまして、関心の高いところをお持ちの方です。ただ、経歴については私も存じ上げてないのですが、博物館次長、後日、お話ししていただければと思います。

ちなみにこの方は前回は委員ですので、継続ということになります。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。

私からですが、学校教育、社会教育の関係者、家庭教育、学識経験のある者と四つのそれぞれのジャンルから来ているわけですが、この博物館協議会の会議の状況というのは、年何回ぐらいで、これがどのように博物館運営に活かされているのかということについて、確認しておきたいと思うんですが、その辺りはいかがでしょうか。

博物館次長。

○博物館次長 協議会については、年に大体3回ぐらい開催しております。

初回は、前年度の事業と今年度の事業についてを議題とし、7月26日を予定しているところでございます。

○教育長 もしよろしければ、去年までの協議会の雰囲気などについても、少し文化財課長のほうからちょっと紹介していただきたいと思います。

○文化財課長 私は2年間おりましたが、これまでは年2回の開催でありました。

7月の開催では、前年度の事業報告とその年度の事業計画のお知らせをいたします。

会長が、全ての委員に対し、それぞれの所属の立場からご意見をいただきます。

それを学芸員が調査研究員とコラボして企画展示に活かすというやり方で行います。

それから、2回目については、7月下旬から2月ごろまでの事業内容を報告し、前年度の結果をお諮りし、ご了解をいただくというようにしております。

会議は、テーマ展、企画展の開催中に開催し、会議終了後に観ていただくというような流れで行っております。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。

はい、千葉委員。

○千葉委員 この委員の会長さんはどなたで、その選び方は任命なのか、互選なのか教えてください。

○教育長 博物館次長。

○博物館次長 現在の会長は、菅原文男氏で、互選によるものでございます。

○教育長 この互選については、特に、条例等に規定がないのですが、これ慣例としてやっているということか、規則にありますか。

いずれ、互選ということであります。

もし、会長の選出方法について、条例の施行については必要な事項は市長が別に定められておりますので、規則あるいは要綱等もしてあれば、これもちょっと後で教えていただければと思います。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。

はい、佐藤委員。

○佐藤委員 現在、企画展が開催中で、拝見してきまして、今までも佐藤紫煙展は何度かやってらっしゃると書いておりましたし、面白かったのが、階段や壁にそういった絵を貼り付けてあって、そういった工夫がすごくなされていて、すごく良かったなと感じました。

○教育長 そういった部分についてのご意見などもこの会議の中で、いろいろ意見いただいたものを、できるだけ活かすようにしていると、そういう会議であります。

○教育長 それでは、今回は新たに委員の委嘱ですので、採決をとりたいと思います。

議事日程第2、議案第15号、一関市博物館協議会につきまして、賛同される方は挙手をお願いします。

満場一致で、本案件については可決ということになります。

議事は以上となります。

○教育長 それでは3番の報告に入ります。

報告(1) 行事報告及び7月行事予定について

○教育長 最初に、行事報告をさせていただきます。

前回の教育委員会が5月の21日でしたので、それ以降のことについてお話をさせていただきます。

1 ページ目であります。

第9週、5月27日に東山小学校現況調査ということで、これと6月の3日に東山小学校新校舎建設整備検討委員会、それから同じく6月8日の教育民生常任委員会所管事務調査は関係ありますけれども、前に教育委員会の中で、東山小学校の校舎建設が今進んでいるところなんです、長寿命化ということで、主な柱を残しながら新しい校舎を今建設中という話しました。

その中で、実際に壁や柱の表面を剥がして見たところ、不具合なところが幾つかあっ

て、長期使うためには、この機会に是非大がかりに修理しておいたほうがいだろうと、そういうことのお話を前に、事務局のほうからさせていただきました。

それに基づいて、私の方で実際にそこに行って見させていただきましたし、それから東山小学校の校舎建設の整備検討委員会、住民の方々に組織している検討委員会に報告をさせていただきました。

さらに、教育民生常任委員会でも報告をさせていただき、現在進行しているところです。

予定では、今は議会中ですが、議会の最終日、今週の金曜日に、その予算について補正予算として提案しておりますので、それをそこでご承認いただくという流れの予定になっているところです。

同じ週の30日、岩手県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会がホテル大観でありましたが、これは昨年までは、委員長、教育長が全て出ておりましたけども、県内全ての教育委員会が新教育委員会制度になりましたので、今年度から教育長のみのお出席で私が出させていただきました。

同じく31日、県立高等学校再編後期計画策定に向けた地域検討会議が合同庁舎で行われ、様々な方々に参加していただきまして、一関市、平泉町それぞれの首長、教育長、それから、PTAの方々等いろんな方々に出席していただき、県の教育委員会から説明がありました。

ただ、具体的な説明はそこではされませんでした。

今回は、高校の小規模校のあり方、それから、国の指導、少人数学級をどういうふうにしていったらいいのかという、そういう意見を出す会議でありましたが、具体についてはまだちょっと出てないところがあります。

これとは直接関係ないのですが、ちなみに、大東高校が今年から普通学級3学級から2学級になりましたし、それから、来年では2年には一関一高が学年6学級から5学級になる予定になっておりますし、それから一関工業が4学科から3学科になる予定というふうになっております。

これは、中学校の卒業生の数を見ながら、そういう学級数調整をしていくということでもあります。

6月に入りまして、6月2日に、中学校通信陸上、それから小学校の陸上交流大会がありました。

これは両方とも、全国につながるような大会でありますので、一定の記録を出した子どもたちは、最終的には全国にこの中から出てくるのかなというふうに思っております。

第10週、6月3日、先ほど委員につきまして、委嘱したということにご承認をいただきましたが、社会教育委員会議、これが第1回目があったところでもあります。

今回社会教育委員会議には、市民センターの指定管理の状況について、今年度、5つの市民センターで指定管理に移行しましたので、現在34ある市民センターのうち19の市民センター、半数以上が指定管理に移ったところです。

その報告と意見をいただきました。

もう一つは、地域と学校の協働連携についてということで、コミュニティ・スクールのことについて社会教育委員会議の中でも、県の担当者に来ていただきましてご説明をいただいたところであります。

なお、今度の東北六州市町村教育委員会研修会の後に、後ほど説明あるかと思いますが、コミュニティ・スクールの実践校に行つて、様子を聞いてきたいというふうに思っております。

6月5日、両磐地区租税教育推進協議会総会について、年に1回であります、私が会長になっており、税務署でありました。

これは、中学校、高校の校長の代表者、税務署、市、県の税関係の方々に集まっていたいただきまして、租税教育と子どもたちに、納税の大切さということについて周知するような活動を行っていますので、その計画について話し合ったところです。

同じ5日、室根地域の学校統合整備推進委員会がありました。

これは、委員が新しいメンバーになりましたので、去年まで進めたところを皆さんで確認して、特にも整備基本構想を確認し、その後委員長を選出しました。

今後のスケジュールについては、今年度中に、設計業務のプロポーザルをやる予定となっております。

そして、今年度の後半から設計業務に実際に入って、基本設計、実施設計と入つて、来年の後半になると思いますが、施工業者を入札で決めて、そして、校舎をいよいよ建設ということになっていく予定であります。

室根小学校については、来年の後半から建設が始まる予定であります。

なお、学校名につきましては、この整備推進委員会の中では、「室根小学校」という名称で統一した形で教育委員会に提案したいというお話がありましたので、これについてはまた後日、承認いただければなと思っております。

6月6日総合教育会議がありました。

大変ありがとうございました。

外部の方2人に入つていただきましたが、新たな視点と皆さん方からいろんな意見を出していただいたところです。

同じ6日、一関地域の教育振興運動推進協議会総会がありました。

これは年に1回総会をやって、そしてこれは一関地域のいわゆる「教振」と言われて

いるものの総会であります。

一関地域でも実践区が分かれています。今年度は、南小、一関中の学区が実践発表を12月に行う予定になっております。

6月7日、修紅短期大学の協力会総会がベリーノホテルでありました。

市長が会長になっておりますので、私もこの中の一員として出させていただきました。毎年やっているものでありますが、大学の状況等説明いただきまして、今後の部分について意見を聞くという機会でありました。

次のページ、14日ではありますが、同じ修紅の系列であります。修紅高等学校の創立120周年の記念式典と講演会が文化センターでありました。

歴史的には非常に古い学校であります。

記念講演では、ルー大柴さんという方に来ていただきまして、「人生マウンテンあり、バレーあり」、山あり谷ありということですが、人生一度きりだから夢を持ってということで講演をしていただきました。

カタガナ語を使うのが大変好きな方で、面白い講演だったように思います。

第12週、18日、市議会本議会がスタートしております。

19日、奨学生選考委員会がありました。

実は、この奨学生については、2年ぐらい前から、2月に1回、この奨学生の選考を行って、そして、経済的な不安を2月の段階で解消するというのを目的に、2月にこの会議を行いました。

今回6月に行ったのは、二次募集でありました。

今回は8人希望されております。

前回は47人に交付することと決定いたしましたので、今回を合わせると、今年度新たに奨学金を受けるのは55人ということになります。

第13週、昨日6月28日ではありますが、教育民生常任委員会がありました。

これは議会中ではありますが、特別にこの常任委員会を設置し、義務教育費の国庫負担法で現在3分の1は国庫負担、3分の2は県費でもって、教職員の人件費を賄っていますが、これを昔やっていたように、2分の1に還元してほしいと、そういう請願についての審査でありまして、私たちが言って説明をしてきたところでありまして、

これが今議会の最終日に、これを提案されるということになります。

行事報告については以上であります。

○教育長 何かご質問がありますか。

はい、千葉委員。

○千葉委員 先日、中学生を子どもに持つ保護者の方から、一関一高の入学定員が1クラ

ス分減るということで、その減るのは、いわゆる外進生ではなく、内進生が減るらしいと言われ、そんな話を聞いてなかったのですが、外進生が減るのですよね。

○教育長 教育部長。

○教育部長 新聞の記事の関係ですが、附属中学校の定員が70人になるというように読んだので、内進生の関係は、高校の定員の関係もありますが、新聞報道でしかないのですが、中学校の定員が70人になるように読みました。

○教育長 こういう仕組みになっておりまして、今、中学校から言いますと、中学校が現在40人と40人で合計80人と2クラス分ですが、岩手県内の県立、市町村立の中学校が全て35人学級で、それに合わせなければいけないということが前から議論されており、来年の募集から1クラス35人になる。

そうすると、合計70人になりますから、今までより10名少ない募集になるということです。

これが今度高校に行くことになりませんが、今お話の高校はまた別の話で、1クラス40人で、今まで6クラスで240人だったのが、今度5クラスになりますから、200人の定員になるということでもあります。

200人のうち、今は附属中学校から80人が、いわゆる内進生が80人入ってきてますので、現実的に120人を今募集しているということになりおますが、今度から120人になる、前までは240人だったので80人入っても、160人とれていたのですが、これが120人になるということになります。

先ほどの中学生の話は、来年度の1年生から70人になるもので、3年後に上ってくるものということになります。

そうすると、今度は外からの定員枠が10人分増えるのですが、図に表わせればわかりやすいのですが、何となくイメージわかりましたでしょうか。

○千葉委員 はい、わかりました。

○教育長 これもやはりいろいろ議論されて、意見も求められたりしておりますが、こちらが言ってそれで決まるわけではありませんが、私としては、タイミングをきちっと見ていただきたいという話は県の教育委員会に伝えてあります。

一関一高も今度、スーパーサイエンスハイスクール、SSHと言われておりまして、指定を多分受けることになるだろうと、指定を受けながら定員減というのはどうなんだろうという意見が前からありましたが、そういうのはやはりタイミングを見てほしいと、そして中学校の生徒が上がっていく、その人数のタイミングを見ながらやらないとまずいのではないかという話はしておりますが、ただ、中学校の卒業生がどんどん少なくなっているのは事実ですので、どこも減らすなというのと全部定員割れの状況が出てくるということ

で、非常に難しい問題だと思えます。

ちなみに、この3月に入試が行われて入った中で、一関二高が定員オーバーで、一関一高はほとんどを定員そのままという状況でした。

花泉高校もほぼ定員に近い状況、千厩と大東が定員に対し若干少ない状況であります。

○教育長 そのほかは何か行事についてよろしいですか。

それでは、行事予定について事務局からお願いします。

○教育総務課長 それでは、7月の行事予定についてご説明いたします。

(説明)

○教育長 行事予定について説明がありましたが、何かご質問ありますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、次回の教育委員会議の日程について、7月25日木曜日の午前10時から行いたいと思えますが、いかがでしょうか。

(「大丈夫です」の声あり)

それでは、7月25日午前10時からということでもよろしくをお願いします。

○教育長 それでは、報告については以上といたします。

4番のその他に入ります。

その他(1) 令和元年度学校教育行政の重点について(キャリア教育)

○教育長 (1)、令和元年度学校教育行政の重点ということで、毎回内容を変えながらやっておりますが、今回は「キャリア教育」について説明をします。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 それでは、A3判の資料をごらんください。

(説明)

○教育長 何かご質問、ご意見等があればお願いいたします。

はい、千葉委員。

○千葉委員 この社会体験学習は、文部科学省で全国にやりなさいと言っているものなんですね。

○学校教育課長 はい。

○千葉委員 そして、岩手県の中で実施しない中学校は、ゼロ%ですか。

○学校教育課長 具体的なデータをちょっと持ち合わせておりませんが、多くの学校はやっているという話は聞いておりますが、その割合については承知しておりません。

○教育長 私も、ゼロのところはちょっと把握してないんですが、かなりのところでやっていると思えます。

ただ、ほとんどのところは1日か2日ですが、5日やっているのは実は一関だけなんです。

県内で一関市だけあります。

5日間やるというのに対して、非常に学校の中で賛否両論あるのですが、多くは賛同してやっていただいておりますが、一つはやはり授業の日数が単純に少なくなりますので、その分勉強しなくていいのかということもあったりするのですが、市内中学校はそれにもめげずに頑張っているところです。

それによって学力が低下しているという雰囲気はありません。

全国を見ますと、ほとんどやってない県、それから7日間1週間丸々やっている県、例えば神戸、神戸はそこがスタートですが、キャリアスタートウィーク、そういう事業でやっております。

それから、富山県も全県どの学校も5日やっております。

5日間は全国でもそれほど多くはなありません。

ですから、一関市はキャリア教育についてはかなり力を入れてやっているところであります。

○教育長 伊藤委員。

○伊藤委員 昨年6月29日、総合教育会議の中でもキャリア教育についてお話がありました。

そのときも述べたのですが、やはりキャリア教育は、生きた教育だと思うのです。

現場に出て、本当に働く勤労感、職業感だけではなく、自己肯定感とか有用感を身に付けられると。

まず、私がいつも感じるのは、核家族化の中で子どもが家族の一員として家庭での担う役割はほとんどが親に任せきりとか、おじいちゃん、おばあちゃんに任せきりで、子どもを甘やかしているというような状況の中で、仕事に対するその認識と考え方がちょっと薄いような感じがします。

そういう意味でも、やはりキャリア教育というのはすごく大切だなと感じます。

もう一つは、経済的余裕からか、お金に対する概念が子どもたちには薄いと感じます。親やおじいちゃん、おばあちゃんの会話の中で、お金が子どもたち、孫たちとのツールになっていると。

ですから、子どもたちは金銭に関する価値感が非常に麻痺している中で、そういう意味でもキャリア教育を体験することによって、働いて親がお金を得て私たちが生活できると認識する一番の良い手だてがキャリア教育だと思うんです。

ですから、キャリア教育は、教育委員会から現場に、大切な生きた事業、教育ですの

で、働きかけを是非していただきたいと思います。

○**教育長** 小野寺委員は、キャリア教育を受け入れしておりますが、感想をお聞かせください。

○**小野寺委員** 非常に難しい部分がありますが、子どもさん達が実際にどこまで実感しているのか分からない部分は正直あります。

○**教育長** 5日間ですから、5日目になるとそろそろ本音が出てくるかもしれません。

ほかのところは事業所に協力をもらうことが結構大変なんです。

ところが、一関では5日間ですずっとやっていますので、あまり抵抗はないようです。

そういう点は、かなり受け入れていただく素地はかなり出来ているし、逆に言うで一関の子どもたちを何とか少しでも育てるのにお手伝いしようという意識が、事業所の中にかなりあるのではないかなという感じがします。

○**小野寺委員** 接客部分はどこまでお願いしすればいいのか悩みます。

実際お客様がいらっしゃるような場合は、どこまで子どもさんをお願いすればいいのか考えます。

○**教育長** 事業所では、子どもにその安全面の関係でどこまでやらせるのかという部分で、ちょっと躊躇しているところがやはりあります。

事業所によってもさまざまなので、子どもによっては本当に、くたくたになるくらい疲れるところ、暇で暇でしょうがないところとさまざまなんです。

毎日同じことをやる、日によって変わるとか、やはりさまざまだから子どもの満足度も全体的に高いのですが、よくよく見ていくとすごく満足した、満足できなかったという、やはりあるのではないかと思います。

それも含めて実際の社会ということの体験かなと思います。

○**伊藤委員** 例えば、ハンディキャップを持った子どもさんに対する地域の受入れというのもすばらしくて感動しました。

一関市の事業所さんは、本当にあの本気で分かって、受け入れてくださいます、丁寧な対応をしてくださいます。

そういう場面を、私は大東・千厩地区で見してきました。

そういうことを考えると、やはり地域の教育力も向上してきたという感じがします。

○**教育長** 是非、その辺も今度の1月にキャリアシンポジウムが一関でありますので、参加していただければと思います。

○**教育長** それではこれについてよろしいでしょうか。

その他(2) 令和元年度東北六縣市町村教育委員会連合会研修会及び一関市教育委員会委員視察研修について

○教育長 その他の(2)に入ります。

令和元年度東北六縣市町村教育委員会連合会研修会及び一関市教育委員会委員視察研修につきまして、事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長 それでは資料ナンバー3をご覧ください。

(説明)

○教育長 資料は見ていただいてということをお願いします。

ちなみに、三春町は一関市の姉妹都市になっております。

一関市の姉妹都市は、国内では三春町と和歌山県田辺市の二つが姉妹都市になっております。

田辺市は昨年度結びましたが、それと、友好都市となっているのは、気仙沼市、埼玉県吉川市です。

それでは視察研修につきましては準備をお願いします。

その他(3) 学校の冷房設備の設置について

○教育長 その他の(3)、学校の冷房設備の設置につきまして、現在の進捗状況について、教育総務課長をお願いします。

○教育総務課長 それでは資料ナンバー4をご覧いただきたいと思います。

(説明)

○教育長 何かご質問等があればお願いします。

○教育長 では、私から。

今は施工業者が全部決まって、やるところは既にやっているわけですが、44校小中学校があるうち、藤沢の4校はもう出来ると、もうそろそろできるという段階です。

7月の後半から使えるということ。

それから、東山小学校は、既に仮設校舎に冷房が入っているので、今非常に快適な状況、暑くなっても快適な状況で、いずれ新しい校舎にも付けるということで、東山も問題なしでございまして、残り39校のうち8月22日あたりに試運転が出来る可能性があるのは何校でしょうか。

○教育総務課長 8月22日に試運転が出来るという予定の学校は、29校でございまして。

○教育長 残りの10校は間に合わないということですね。

○教育総務課長 はい。

○教育長 8月22日に試運転が出来れば、2学期からは使えるという見込みです。

それが29校ということですので、全体の4分の3ぐらいは、今年度の夏に使える見通しだそうです。

若干その予定がどうなるかという部分がありますが、そういう状況です。

39校について、製品の納入は可能ですか。

○教育総務課長 企画提案書を業者さんから出していただく段階におきまして、各業者さんのほうで仮予約といいますか、そういう状況は把握されたようで、試運転が間に合うというところにつきましては、製品としては在庫確保できる見込みとなっております。

なお、エアコンそのものにつきましては、確保できる見込みとなっておりますが、受電設備の改修をしなければならないのですが、そちらにつきましては、これから精査していくこととなりますが、そちらの部分で多少遅れる場合もあるのかなと見込んでおります。

○教育長 それから、その冷房は上から吊り下げる形ですか、それとも設置ですか。

○教育総務課長 天井から吊り下げるような形を予定しております。

○教育長 はい、何かあと質問等がありますか。

よろしいでしょうか。

それでは4番のその他は終わりたいと思います。

○博物館次長 先ほどの博物館協議会の委員の家庭教育実践者の経歴等のご質問でございますが、博物館の事業にお子さん共々積極的に参加され、事業を実際に体験したという方から、今後の事業運営について、ご意見をいただきたいという観点から委嘱をしているところでございます。

それから、協議会の会長の互選につきましては、協議会規則の第4条で委員の互選によると規定されております。

○教育長 はい、ありがとうございました。

そのほかは特にありませんね。

○教育長 それでは以上で第194回一関市教育委員会定例会を終わります。

ありがとうございました